

毛糸のおっぱいプロジェクトの主な参加イベント

様々な学習会で販売やPRをさせていただきました。委託販売を引き受けてくださった方はじめ、たくさんの方にお世話になりましたことを改めて御礼申し上げます。皆様、いつもありがとうございます！

2014年

- 1月 第35回 JALC 母乳育児支援学習会 in 東京
- 2月 第39回 全国助産師教育協議会師研修会 in 仙台
- 3月 第11回 IBCLCのための母乳カンファレンス in 名古屋
- 5月 平成26年度日本助産師会総会 第70回日本助産師学会 in 福岡
日本BPW連合会 2014年総会山形大会 (委託)
- 6月 母乳育児支援を学ぶ 九州教室 (委託)
第36回 JALC 母乳育児支援学習会 in 仙台
- 7月 神奈川県助産師会助産所部会研修会
- 8月 愛和病院 (委託)
- 8月~10月 熊本助産師会 (委託)
- 10月 第10回 JALC 医師のための母乳育児支援セミナー in つくば
平成26年度 日本助産師会 中国・四国地区研修会 in 広島



2015年

- 1月 第37回 JALC 母乳育児支援学習会 in 東京
- 3月 第12回 IBCLCのための母乳育児カンファレンス in 京都
第29回日本助産学会学術集会 in 東京
- 6月 第38回 JALC 母乳育児支援学習会 in 神戸
- 7月 第11回 ICMアジア太平洋地域会議・助産学術集会 in 横浜
日本助産師会出版 (委託)
- 11月 ぽればれお楽しみ会 in 富谷 (仙台) (ママサークルチャリティーイベント)
- 12月 マタニティサポートカフェ鹿児島 (委託)

全てを掲載することはできませんでしたが、各地の勉強会などでも多数委託販売をしてくださり、心より感謝申し上げます。

プロジェクト開始から
4,231個のあむあむおっぴ
1,294個のミニおっぴ
324体のあむあむちゃん
457個のストラップを
 お買い上げいただきました。
 (2015年12月現在)

あむあむおっぴを販売しませんか？

くわしくはお問い合わせください。

委託販売

1回につき30個以上預かっていただき、売れ残りは着払いで返品いただく方式。
 売り上げの20%を委託料としてお支払いいたします。
 イベント、学習会などでもご利用下さい。

まとめ買い

定価にて10万円分以上をまとめてご注文いただくと30%引きにさせていただきます。

単品、10個パックのご購入は
 ホームページからの申込が便利です。

あむあむおっぴ 1個 2,000円
 ミニおっぴ 1個 1,200円
 あむあむちゃん 1体 6,000円
 ストラップ 1個 500円

送料500円をご負担いただいております。

毛糸のおっぱいプロジェクト

TEL 022-772-5960 FAX 022-774-1604
 Mail oppi@tomo-j.jp

お支払方法

<銀行振込の場合>

七十七銀行 向陽台支店 (普通) 5367638

口座名: 毛糸のおっぱいプロジェクト 代表 北原郁恵

<郵便振替の場合>

郵便局備え付けの「払込取扱票」(郵便振替用紙・青色)か、
 当方で配布中の印刷済み振替用紙(青色)をご利用下さい。

口座記号 - 口座番号 022804134233

加入者名 毛糸のおっぱいプロジェクト

毛糸のおっぱいプロジェクト



ニュースレター VOL.4

2013年12月~2015年12月の活動報告

2015年12月発行 事務局/とも子助産院
 仙台市泉区野村字野村 95-6 022-772-5960

毛糸のおっぱいプロジェクトを応援してくださっている皆様へ



3.11.のあの日より、はや4年以上が過ぎました。市街地は何事もなかったように、華やいています。沿岸部の殺伐した風景には、あまり変化を感じられません。ただ大型トラックと重機の音が鳴り響いています。夜、家を一步でたら、真っ暗。そういう生活がまだ続いています。東京オリンピックが決まってから、インフラ工事は一層遅れをとっているという話も聞きます。人口減少も著しいです。世界的にも有数の漁業基地である気仙沼ですが、ようやく住宅地のかさ上げ工事が終了して仮設住宅を出られるめどが立ってきたというところでは。

『あそこで何人、あそこでは何人いなくなった。』と思うところにも出たくない。前の風景を知っているからね。今は土色でしょ。見たくない。』

「あんまり風景が変わってしまってね、自分がどこにいるのかわからなくなる。日が暮れると迷子になりそう。おっかないんだ。」「ふっと思うと、『あれもあったのに、これも無いんだ〜。』となくなった物ばかり数えてしまう。」と、おっぴ様たち(宮城言葉で、おばあちゃん達のこと)が話します。

編み物好きのおっぴさまにとって手仕事は、さみしさを紛らわすお薬。「どこかの赤ちゃんやお母さんの役に立つ日を思いながら、きれいなもの、かわいいものを触っていると、いやなことを考える時間が減るから、助かる。」と言っています。

毛糸のおっぱいプロジェクトの事務局にしているとも子助産院も、今年の9.11. 関東東北豪雨で浸水の被害を受けました。津波の比ではないものの、泥水に浸るといことが、どれほどのものか、身をもって知り、また継続支援や寄り添いのありがたさが、心に沁みました。古い家具や写真、長年使いなじんだ道具たち。資産価値はなくても、生きてきた証のような物たちが、すっぽりなくなるのは、なんとも言えない寂しさです。「海水じゃないからまだましよ!」「物欲は捨てて、未来志向でね!」「命あったら、また買える!」仲間たちから厳しくも現実的な暖かい叱咤激励を受けつつ、助産院も再起をかけて奮闘中です。



2015,9,11 撮影

海がようやく生き返ってきて、今年は名物の養殖牡蠣も、大きく育て、おいしくたっぷりいただきました。忍耐強い東北の女達が、力を合わせ遅く頑張っています。

昨年あたりまでは、いろいろな仕事作りや癒しの支援がありましたが、今では、そのほとんどが終了してしまいました。今でもこうして、毛糸のおっぱいプロジェクトが続けられているのは、購入・活用して下さる皆様があってこそ。母乳育児支援とともに、被災した高齢女性たちの癒しと収入の一助として、継続していきたいと思っています。

今後とも、お力添えをお願いします。

(とも子助産院 伊藤朋子)

Facebook 始めました。

<https://www.facebook.com/keitonooppai/>

新作の入荷情報や季節の便りを発信していきます。
 いいね! & フォローお願いします ^^